

砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課


担当課長名 : 姫氏原 健司

事業の概要

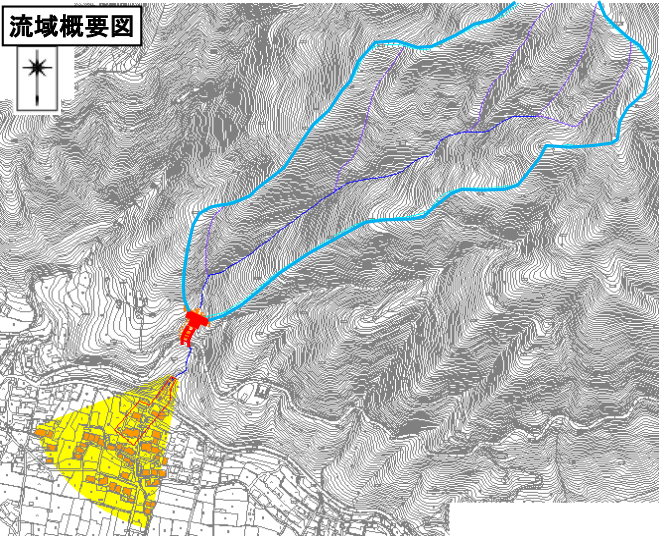
事業名	通常砂防事業	事業区分	通常砂防事業	事業主体	徳島県
事業箇所	三好郡東みよし町加茂字山根	箇所名	赤ハデ谷		
事業概要	砂防堰堤1基(H=14.0m L=54.6m V=2,867m ³)、溪流保全工 L=46.6m				
事業の目的・必要性	<p>本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。当地区内には、人家32戸や町道があり、地域住民の人命や財産を守るため、平成25年度より通常砂防事業に着手した。</p>				

総事業費	303 百万円
------	---------


事業概要図・写真




赤ハデ谷通常砂防事業




流域概要図



本堤工



流路工



全景

事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<ul style="list-style-type: none"> 計画工期H25年度～H29年度 → 実施工期H25年度～R2年度 当初B/C 7.5 → 事後B/C 4.8
	②事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 砂防堰堤の完成に伴い想定される土砂災害への効果が発現された。 人家32戸、町道1,080mが保全された。 ソフト対策である土砂災害警戒区域の指定と併せて、地域の総合的な防災力の向上が図られた。
	③事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 一定以上の堆砂を除石する管理型砂防堰堤を採用することにより、堤高が抑えられ景観に配慮できている。
	④社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> H30.7月に発生した西日本豪雨災害により土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や生活道路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。
	⑤課題と今後の事業への反映	<ul style="list-style-type: none"> 事業着手後、工法の検討に時間を要したため、工期に遅れが生じた。今後は、詳細計画時に十分な現地踏査等を実施し、円滑な工事進捗に務める。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用(百万円)		総便益(百万円)	
	当初	平成25年	7.5	229	工事費	1,717	人家39戸、道路1,080m
	事後	令和7年	4.8	559	工事費	2,666	人家32戸、道路1,080m

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。